

平成22年度  
(第二四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上高は前年同期比102.1%ですが、目標に対しては99.8%の状況でありました。これはグループ各社への販売としてドラッグ流通ドリンク需要増の貢献が大きかったものの、本体事業での医薬品OEM受託事業、グローバル事業、及びリテール・新規OTC事業が目標未達であった為であります。又、経常損益は前期比較で売上原価・販管費増で進捗し、半期現在では190万円となりました。  
(事業運営面) 新中期経営計画最終年度のH24年度達成に向け、本年損益分岐点クリアーを目標としており各部門でのコスト削減実行の他、「創って作って売る」一気通貫体制の下、3現主義(現場・現物・現人)及びデッドライン(1日・1週・1ヶ月)の徹底を図り、計画達成の実現を目指しています。

#### 課題への取組み

営業政策においての「マーケティングのおくれ」が課題となり、医薬品OEM受託事業&グローバル事業においての体制の再構築を行っています。ターゲットポイントをより明確にしてチームメンバー全員が横一線で取り組む形にて下半期へ望みます。又、コンシューマ事業においても同様にマーケティング体制の再構築を行い、目標達成へのバトル体制の実践を図ります。

#### トピックス、適時情報

- 1.八尾の桑収穫と植栽活動への支援、参加 7月3日
- 2.指定第2類医薬品「ハイカゼEV錠」の発売 8月
- 3.「やくぜんカレー」がanan「女子的おとりよせ大賞」カレー部門のファイナリストとして掲載 8月
- 4.「エイジングピュア」富山大学名誉教授 服部征雄先生監修の健康補助食品を発売 9月

#### 業績の概況 (広貫堂・単体) (第二四半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	4,766,567	5,090,422	5,357,832	5,473,148
経常利益	309,590	300,048	90,337	-1,967

### 広貫堂グループ

#### 連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年同期比103.8%で推移。しかしながら目標に対しては、第一四半期と同様に今夏の猛暑も手伝ってドリンクの伸張にて日本薬剤(株)のドラッグ流通事業が好調であったものの薬都広貫堂・広貫堂薬品販売・トキワ広貫堂及び広貫堂メディフーズが至っていない状況にあります。経常損益についても結果的に売上原価率のアップを招き、販売管理面ではコスト意識により経費減ではありますが人件費が前年同期比105%であり昨年より大幅な減少となりました。下期予測でも固定的な費用も見込まれており、単体課題でも述べた通り販売マーケティング体制の再構築にて目標をクリアすべく「広貫堂グループ全ての人のパワーを結集して付加価値創生にチャレンジする」中期方針での安定収益と持続的成長を目指してまいります。

#### 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第二四半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	6,153,657	6,528,121	6,540,918	6,790,004
経常利益	293,454	388,895	207,325	27,054

平成22年度  
 (第二四半期)  
 グループ各社

**広貫堂グループ IR情報**

**薬都広貫堂 株式会社**

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)  
 新法対応を含めた新製品を導入しましたが、残念ながら売上高は目標比95.1%、経常利益は目標比65.1%で第二四半期を終えました。

(事業運営面)  
 重点製品および新発売製品のエリア別販売戦略を基本とする営業展開の更なる徹底を目指すとともに、消費者ニーズにマッチした製品開発を進めていきます。

トピックス、適時情報

1.平成22年7月12日付一般用医薬品販売制度Q&Aにおいて、配置向け製品「配置期限」を「使用期限」表示へ変更可能となったため、より消費者にわかりやすいよう、「使用期限」表示へ変更することにしました。10月以降、順次変更いたします。

2. 第二四半期では次の製品を発売しました。  
 第 類医薬品:「ハイカゼEV錠」  
 健康補助食品:「エイジングビューア」「伝統の力」

業績の概況 (第二四半期、平成22年4月～9月) (千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	2,236,713	1,955,399	1,802,772	1,784,741
経常利益	-77,679	12,618	23,026	8,618

**日本薬剤 株式会社**

事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)  
 売上高は、昨年発売したアルミ缶飲料、パウチ飲料、医薬部外品ドリンクおよび本年度新発売した、かぜ薬、医薬部外品ドリンクなどが寄与し、昨年同期比319,771千円上回りました。また経常利益は売上増により、昨年同期比16,504千円増の71,110千円となりました。

(事業運営面)  
 メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

トピックス、適時情報

新発売(4～9月)  
 かぜ薬 1アイテム  
 点眼薬 2アイテム  
 100mLドリンク 2アイテム

業績の概況(第二四半期、平成22年4月～9月) (千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	1,475,794	1,559,926	1,794,830	2,114,601
経常利益	68,518	45,627	54,606	71,110

平成22年度  
(第二四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 廣貫堂産業 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)売上高は、廣貫堂および各グループ会社からのPC等の発注が計画よりも大幅に増加した為に、内販売上が当初計画よりも大幅増となりました。また外販売上、保険売上もほぼ計画通りとなりました。よって売上全体としては計画よりも7,191千円増となり、経常利益は、売上増並びに経費の削減等により、マイナス計画が改善し利益が計上できました。

(事業運営面)「懸場物語プロ」を4月、9月に納品を行い、問題なく運用され顧客満足を得ています。下期に向けては11月に納品予定があります。また、受注をいただいた業者と導入に向けて随時打ち合わせを実施しております。数社より導入を前向きに検討する旨の話をいただいております。

トピックス、適時情報

- 1.業界紙(家庭新聞)の8月26日号(3135号)に「懸場物語プロ」の取材記事が掲載されました。
- 2.顧客価値経営支援システム構築に向けて作業(下期に計画立案に向けて)を行っております。

業績の概況 (第二四半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	44,325	110,901	50,041	79,207
経常利益	3,346	10,068	-3,365	2,594

### 広貫堂メディアーズ 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

新商品の発売、既存商品の販促強化に努めた結果、5,366千円の増(前期比103.1%)となりました。また、経常利益は、売上増並びに経費の削減、前期実施事業の廃止等により、前期より大幅に改善いたしました。

(事業運営面)

ホームセンター向け「ゼリー飲料」の発売及び、新商品「富山廣貫堂やくぜんカレー ポーク」の発売により、各販売個所の拡大を行っております。

トピックス、適時情報

- 1.県内、県外の展示商談会に参加し、「サンリキソドリンク3000」、「健康ペット飲料」、「やくぜんカレー」の販促に努めました。
- 2.平成22年度地域産品販路開拓機会提供支援事業にエントリーし、「富山廣貫堂やくぜんカレー」の首都圏、中部、関西の販路開拓を行っております。

業績の概況 (第二四半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	185,056	269,104	172,708	178,074
経常利益	12,182	421	-36,562	-1,741

平成22年度  
(第二四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 広貫堂薬品販売 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

上半期(4月～9月)販売面では、前年同月913,083(千円)に対して962,033(千円)前期比105.4% 利益面では、前年11,902(千円)に対して-2,766(千円)で推移しました。当初計画より上期は、先行投資による経費負担増がありましたが、下期はそれら部門の売上高増加が期待できます。

(事業運営面)

5月より取り組みを行っているオフィスドリンクサービス(冷蔵庫事業)を、約800企業に設置完了しております。

トピックス、適時情報

1. 新卒者の変遷・・・4月11名入社 ビジネスマナーを中心とした研修を実施(新懸け、薬連研修)し5月より、新懸け実績1,200軒強の新規開拓し廻商を行ない9月には、管理者擬似代行研修を実施させております。この業務の取組みを、全営業所に速報として流しており、モチベーションのアップに繋がっています。
2. 平成23年度採用者・・・企業説明会を8月17日開催 9月10日入社試験実施、2回目は11月5日に実施予定。

業績の概況 (第二四半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	848,218	897,376	913,083	962,033
経常利益	-45,743	2,890	11,902	-2,766

### トキワ広貫堂 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第一四半期同様、配置部売掛金圧縮最優の為、上半期の売上は厳しい状況となりましたが、キャッシュローは順調に推移しています。又、卸部に関して個人帳主さんの懸場減少に伴う売上の低迷が懸念されません。

(事業運営面)

本年度スタートした食系部に関し、8月下旬より「ドリンク事業」という新たなミッションを与え、さらに市場開拓及び口座数獲得への強化を図り、業績に繋げて参ります。

トピックス、適時情報

1. 10月31日(日) 平成22年度沖縄県登録販売者資格試験(琉球大学)
2. 11月1日(月) 新商品「エイジングピュア」発売開始

業績の概況 (上半期、平成22年4月～9月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	134,177	175,749	206,911	176,568
経常利益	-6,516	-16,909	12,109	-9,117